

令和6年度第3回大和村議会定例会
 一般質問通告一覧(9月12日 木曜日 開催)

No.	I	市田 実孝	
質問事項			要旨
1.	県道79号線沿いの観光	ルートの確立	<p>1) 県道 79 号線沿いの公園は絶景ポイントが多く観光客に観光ルートの一つとして確立されているか。</p> <p>2) 既存公園の管理整備状況改善計画について。</p> <p>3) 自治体では村おこしに、夜空の満天の星、夕日などを売りにしている所があるが、夕日・星空をアピールするために写真コンテスト開催などしていけないか。</p>
2.	物流の活性化対策支援		<p>1) 大和村では、郵便局などで地元特産物を村外に宅配する方に送料の助成事業は出来ないか。</p> <p>2) 村民が行う宅配への送料支援は、大和村特産品・地場産品の利用拡大ならびに地場産品育成にならないか。</p>
3.	集落支援員制度活用の	必要性	<p>1) 国・総務省が集落活性化のために推進してる事業で、集落支援員を設置していく考えはないか。</p> <p>2) 総務省が求める集落支援員となりうる集落対策の人材は、現在各集落で選ばれた役員の日常的活動にとらえられるが、集落別に支援員として任命していけないのか。</p>

No.	2	前田 清和			
質問事項			要旨		

<p>1. 道の駅、早期実現に向けて</p> <p>2. 環境整備の充実を</p>	<p>1) 観光振興による、地域経済の活性化が期待される中、観光客誘致において道の駅は、早急に建設すべきと思われるが、来年度以降の事業計画は。</p> <p>2) 大和まほろば館においては、観光客及び一般の方に使用出来るトイレが一箇所しかなく、不便をきたしていると思われる。誰もが気軽に使用できるよう、公衆トイレの設置が必要では。</p> <p>1) 村内漁港には、公衆トイレの設置がされていますが、大棚地区においては設置されておらず、漁民又釣り客の方々へ不便をもたらしていると思われる。今後、公衆トイレの設置に向けての事業計画を図るべきでは。</p> <p>2) 村内各集落には、バスの停留所が設置されていますが、築何十年も経つとコンクリートの爆裂等、危険な場所も多く見受けられる。対策を講じるべきではないか。</p>
<p>No. 3 勝山 浩平</p>	
<p>質問事項</p>	<p>要旨</p>

<p>1. 保育所などでの給食提供に向けて</p>	<p>1) 共働き世帯が増加する中、子育て世代の負担軽減と栄養バランスのとれた食事を提供し、園児の健康保持促進を図るために、保育所での給食提供に向けた環境整備が必要ではないでしょうか。</p>
	<p>2) 子ども家庭庁は、共働き家庭の負担軽減を目的として、小学校の長期休業期間中の学童保育への昼食提供を推進していますが、大和っ子クラブでも同様の昼食提供について協議を進めるべきではないでしょうか。</p>
<p>2. 墓の継承者難や無縁墓の対策のために共同納骨堂(合葬墓)の整備を求めて</p>	<p>1) これまで3回にわたり、整備に関する質問を行いました。が、「現状として無縁墓になる要素はほとんど無く、墓が各家庭で守られている。需要調査を実施する考えはない」との答弁がありました。しかし、共同納骨堂の必要性を訴える声が複数の集落から依然として寄せられています。村民の墓の管理に対する意識の実態を正確に把握するために、アンケート調査を実施してもらいたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
<p>3. 学童疎開船・対馬丸の慰霊碑建立を求めて</p>	<p>1) 対馬丸が撃沈されてから80年が経過した本年、依然として平和の実現は遠い現実です。台湾や尖閣諸島を巡る緊張や、ウクライナやガザ地区での戦闘が続いています。こうした状況を鑑み、平和を希求するために村として何ができるのかを改めて考えるべきではないでしょうか。対馬丸の犠牲者が漂着した今里・名音・戸円の関係者からは、鎮魂と平和を祈るために慰霊碑の建立を望む声が寄せられています。軍事的衝突によって子どもたちの未来が奪われることがないように、私たちにはあらゆる手段を尽くす責任があります。身近な地域で80年前に起こった対馬丸事件を語り継ぎ、教訓とすることもその一つのはずです。犠牲者の鎮魂と平和と命の尊さを教え、事件を正しく後世に伝えていくためにも、本村に慰霊碑を設置することを検討していただけないでしょうか。</p>
<p>4. 辺野古への石材調達について</p>	<p>1) 奄美大島からの石材調達の方針が防衛省から示され、現地調査が行われることが明らかになっています。本村に</p>

			も候補地が1か所あるとされていますが、これまでに得ている情報や、村としての対応について伺います。
No.	4	奥田 忠廣	
質問事項			要旨

<p>1. 令和7年10月に行われる国勢調査について</p>	<p>1) 国勢調査は5年おきであるが、人口動向などで交付税算定が行われるなど重要な年になるが、何か対策を考えているのか。</p> <p>2) 人口減少対策は国の重要事項としているが人口減少は年々増しており、各市町村も人口増加対策を様々な方向から講じている。 人口増加に対し様々な施策を講じ、人、奪い合いの様相が窺えるが、本村も奇抜な政策を発信すべきでないのか。</p> <p>3) 宮古崎トンネル開通により役場から奄美市まで距離にして17km、時間にし30分になり利便性が向上した。利便性を活かした人口確保を行うには、人口増加を望むのではなく、現人口を維持することの対策として「移住者向け定住促進住宅」建設の提案をいたします。移住者に25年間貸し出し25年後に贈与する。25年間の1人あたりの「交付税」「村民税」「所得税」「家賃」等計算すると建設費より多いと考えるが検討すべきでないのか。</p>
--------------------------------	---